

右の世界で色々やっているが、左の世界にはこれらを全く見せず、
class A の method のみ公開したい場合がある。

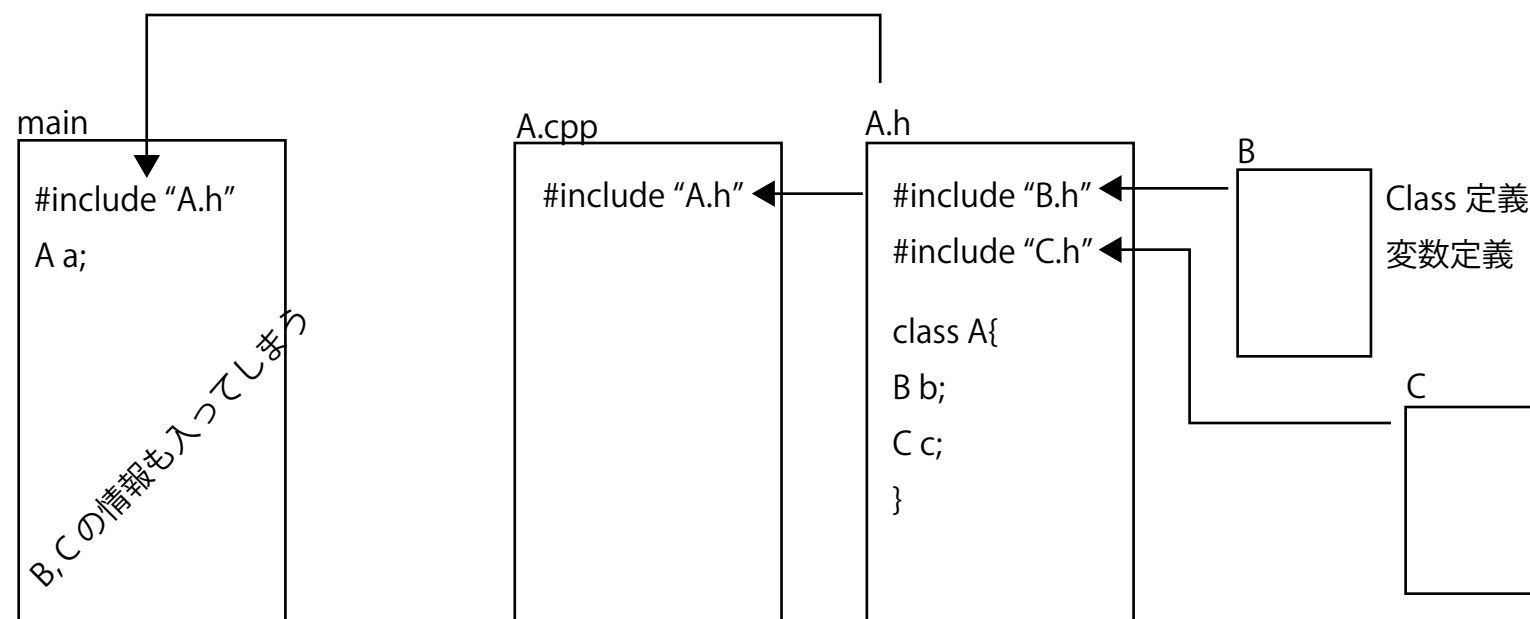
B、C の object を class A の member にせず global に出す (B 側でも A.cpp の頭でも OK)
global に出てしまうので、せめて namespace で区切ること。
右の世界が小さく閉じていれば、左右の世界が綺麗に切れて有効。

A に B, C を扱う private method を定義する場合、
A.h に B、C を引数に取る method が記述されるので、
main に include すると、" B が不明"と言われてしまう。
そこで

```
class B;
class A{
private:
    func_sub(B& b);
};
```

とすれば OK

B object を class 変数として持つと、B の詳細内容が分からないと size が特定できず、
A object を定義できないが、
method 引数に B が入っているだけなら、
"どこかできちんと定義されてるよ"
と教えてあげるだけで OK、ということ



右の世界と左の世界が
必要以上につながっていて、何か嫌